

# 第01回

- 講演者：尾國 新一 氏 (愛媛大学大学院 理工学研究科)
  - 題目：粗 Baum-Connes 予想とコロナ
  - 日時：平成25年5月24日 (金) 16:30~17:30

粗Baum-Connes 予想は、適切な性質を持つ距離空間に対して、その粗幾何的性質だけで決まる二つのある種ホモロジー群が、ある種の指数写像によって、同型となることを主張する。これは Baum-Connes 予想の非同変版の粗幾何版である。この予想は、Novikov 予想など微分トポロジーと深い関係にあることから、興味を持たれている。

本講演では、以上のような背景の紹介の後、階数1の非コンパクト型Lie 群の格子の粗Baum-Connes 予想が正しいこと、および、二つの粗幾何的ホモロジー群がコロナと呼ばれる境界を使って計算されること (東北大学の深谷友宏氏との共同研究) を紹介する。



.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

28 images

From:  
<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/> - (旧)理工学部 数学科  
 Permanent link:  
<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/seminar/2013/001>  
 Last update: **2017/11/16 18:36**

